

両城中学校区小中一貫教育だより

「二川教育プラン」

(両城中学校・両城小学校・港町小学校)

令和7年7月18日(金)第1号

盛夏の候、地域・保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、両城中学校区(両城中学校・両城小学校・港町小学校)の教育推進に、ご理解、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年度も「両城中学校区小中一貫教育だより」を、年3回(7月・12月・3月)発行予定としており、小中一貫教育の取り組みや児童生徒の様子などについて紹介します。

「二川教育プラン」のテーマ

自ら進んで学び合い、認め合う児童生徒の育成
～「自ら考え表現する授業づくり」と「自身を育む教育活動の充実」を通して～

・・・本年度の重点・・・

「自ら考え表現する子」育成部会

- 1 各教科・領域における主体的・対話的で深い学びにつながる単元づくり
- 二川授業スタイルの充実
 - ・問いを生む切り返しやファシリテートの工夫
 - ・特別支援教育の視点での授業づくり
 - ・各教科の見方・考え方を働かせた授業
- 2 授業研究会の充実
- 二川教育全体会のPDCAサイクル化

「自他を大切にする子」育成部会

- 日常的な自主活動の充実
 - ・縦割り班そうじ
- 学校行事の充実
 - ・運動会・体育大会
 - ・学習発表会・文化活動発表会
- 小中連携活動の充実
 - ・いじめ撲滅キャンペーン
 - ・二川クリーン活動・オープンスクール
 - ・陸上教室

チャレンジプラン

- カリキュラムマップの実践及び改善
 - ・総合的な学習の時間等、呉市や二川地区の良さを発見し、発信する。また、地域と協働し、課題解決に取り組む。
- 地域防災プロジェクト
 - ・地域や中学校区で協働し、防災に取り組む。
- 進学プロジェクト
 - ・6年生同士が交流する(両城小体育館での体育科・オープンスクールでの体験授業)。

第2回 二川教育全体研修会



6月20日(金)に、両城中学校で、青野教諭による2学年の社会科の授業を参観し、研究協議を行いました。

授業は、今広島県でも課題である、「人口の転出超過」を取り上げ、その理由を説明できることをめあてとしたものでした。生徒たちは、提示された資料をもとに、思考ツールを使いながら自分の考えを整理していき、自分が住んでいる広島県の課題を真剣に考え、説明しました。

授業後は、よりよい授業にするために3校の教職員全員で研究協議を行いました。



また、講師として、東広島市立入野小学校長 竹野 政彦様をお招きして、今年度の重点である、「特別支援教育の視点での授業づくり」踏まえて、ご指導いただきました。授業のUD(ユニバーサルデザイン)化と題して、児童生徒の学習者への困難さに対する指導の工夫や具体的な授業の創造などについてご示唆いただき、多くの学びを得ることができました。

いじめ撲滅キャンペーン 小中合同あいさつ運動



6月2日(月)から7月4日(金)まで「いじめ撲滅キャンペーン」を行いました。今年度も小中合同で「いじめゼロ」あいさつ運動を実施しました。



地域防災プロジェクト



「地域防災プロジェクト」と題して、両城中学校の生徒会執行部の生徒が小学6年生を対象に、「防災授業」を行いました。今年度は、「津波」。津波が来たとき、自分は「逃げる子」となるという「宣言シート」を書きました。